Matsuyama
Business
College

松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科

2023年度

シラバス

ファッションデザイナーコース２年

名前

※一年間、各自保管すること

令和5年度

服飾家政専門課程　ファッションクリエイター学科　ファッションデザイナーコース

必修/選択		区分	科目名	種別	担当者	ファッションデザイナーコース 2年		
						前期	後期	単位
必修		学科共通	服飾造形Ⅲ	実習	大野	180		6
			パターンメーキングⅡ-A	講義	野口	60		4
			舞台衣装Ⅰ	実習	川上	30		1
			色彩学Ⅲ（全学科共通）	講義	青田	30		2
			デジタル演習Ⅲ（全学科共通）	実習	野田	30		1
			クリエイションデザインⅡ	実習	大木	60		2
			服飾造形Ⅳ	実習	大野		180	6
			パターンメーキングⅡ-B	講義	野口		60	4
			舞台衣装Ⅱ	実習	川上		30	1
			色彩学Ⅳ（全学科共通）	講義	青田		30	2
			デジタル演習Ⅳ（全学科共通）	実習	大木		30	1
		ファッションデザイナーコース	ブランド企画Ⅰ	講義	大木	30		2
			クリエイションデザインⅢ	実習	大木		60	2
			ブランド企画Ⅱ	実習	大木		60	2
						420	450	36
必修科目　合計						870		
選択			パターンメーキング3級実技検定対策Ⅰ	実習	大野	30		1
			パターンメーキング3級筆記検定対策	講義	大野		30	2
			パターンメーキング3級実技検定対策Ⅱ	実習	大野		30	1
			研修	実習	大野		30	1
選択科目　合計								
年間合計時間/単位数						870		36

1　講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

2　選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。

3　選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	服飾造形Ⅲ			時間数（コマ数）	180 (90)	単位数	6
担当教員（資格等）	大野　幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年 パタンナーコース　2年		
授業科目のテーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地の扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達目標	学祭ファッションショーでオリジナルデザイン作品を発表する。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	年間計画・Fショーについて	年間計画、学祭のテーマ設定
2～3	デザイン考案	デザイン画プレゼンテーション
4～8	Fショー作品制作2点 学祭7月	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け
9～46		裁断、縫製
47～48		スタイリング、撮影
49～52	ジャケット柄	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け
53～82	〃	裁断、縫製、仕上がり
83～84	〃	スタイリング、撮影（課題：次回制作ワンピのデザイン画考案）
85～86	部分縫い	薄物の仕立て方,袋縫、パイピング
87～90	ワンピース	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け

使用テキスト教材・教具	布、副資材他		
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	提出作品のデザイン性30%、縫製技術20%、完成度30%、スピード20%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。		

授業科目	パターンメーキングⅡ-A			時間数（コマ数）	60（30）	単位数	4
担当教員（資格等）	野口　陽子			時間割	火曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科2年		
授業科目のテーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、デザイン表現技術の修得を目指す。						
学習到達目標	デザイン画を見て各アイテムのパターンを制作できる。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと型紙の制作方法を指導する。					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	授業ガイダンス	授業、制作物にについて
2	ダーツ操作のバリエーション	ウエスト、ゴージ、センター、ショルダー、アームホール、ウエスト2種
3～5	袖のバリエーション	ランタン、ペタル、ジゴ、タック、フレアー、パフスリーブ（実寸製図）
6～8	襟のバリエーション	スタンド、台襟付きシャツカラー、シャツ、フラット、ステン（実寸製図）
9～13	ブラウス製図	工業用パターン作成、仕様書作成
14～16	トワールによる実寸組立て	トワル裁断、ピンワーク
17	パンツ原型	パンツ概論、パンツ原型製図（縮尺製図）
18～19	パンツのバリエーション	フレアードパンツ、ペッグトップパンツ、ベルボトムパンツ（縮尺製図）
20～22	トワールによる実寸組立て	トワル裁断、ミシン縫製
23～24	創作ブラウス製図	各バリエーションから組み合わせデザイン、オリジナルパターン（実寸製図）
25～26	創作ブラウス製図	工業用パターン作成、仕様書作成
27～29	創作ブラウス製図	トワル裁断、ピンワーク
30	テスト	修了テスト

使用テキスト教材・教具	パターンメーキングⅠ　他2冊、ドレメオリジナル原型 1/5　他　約11点		
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考			

授業科目	舞台衣装Ⅰ			時間数 （コマ数）	30 （15）	単位数	1
担当教員 （資格等）	川上　須賀代			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース2年		
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。						
学習到達 目標	基本原型からパターン展開し、舞台衣装に対応できるオリジナルパターンと制作ができる様になる。						
担当教員の 授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエーターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	衣装概論・製図	衣装制作に必要な製図方法
2	立体検証	袖応用：袖山の検証、応用
3	立体検証	デザイン画を読み取り、製図方法を立体で検証
4	衣装デザイン画	衣装デザイン画（4体）、授業中にリサーチプレゼンとデザイン画確認
5	プレゼンテーション	アイドルに向けたプレゼンテーション
6	最終衣装デザイン画	修正を行い、衣装デザインを完成させる/採寸方法指導
7	採寸	アイドルグループの採寸を行う
8	衣装パターン①	アイドルサイズでパターン制作準備
9～11	衣装パターン②	アイドルサイズでパターン制作
12	トワル制作	シーチングを用いてトワル制作(ミシン)
13～14	仮縫い縫いフィッティング	アイドルに向けて仮縫いフィッティング
15	衣装パターン③	パターン修正箇所の確認、修正方法

使用テキスト 教材・教具			
参考図書 参考文献			
成績評価の 方法・基準	課題80%（縫製、完成度）、プレゼンテーション20%で評価する。		
履修上の 留意点		検定試験の 概要	
備考			

授業科目	色彩学Ⅲ			時間数（コマ数）	30（15）	単位数	2
担当教員（資格等）	青田　梨沙			時間割	金曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科　2年 ファッションビジネス学科　2年		
授業科目のテーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通にいたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達目標	ファッション色彩能力検定2級合格できる知識の習得。						
担当教員の授業に関わる実務経験	□ 有 ☑ 無	【実務経験内容】					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	産業における色彩	産業と色彩
2	〃	ファッション産業と色彩
3～4	色彩理論-光、視覚、心理	光と色
5	〃	色覚のしくみ
6	〃	色彩と心理
7	色彩体系ー色名とカラーシステム	色名
8	〃	三属性による色の表示方法
9	〃	色見本とカラーコード
10	配色と色彩調和	流行配色
11	〃	調和の技術
12	〃	色彩調和論
13	〃	ファッション イメージとカラーコーディネーション
14	〃	日本の古典的な配色-重ねの色目
15	テスト	修了テスト

使用テキスト教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集 ：日本ファッション教育振興協会		
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	修了テスト100%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日（土）
備考			

授業科目	デジタル演習Ⅲ			時間数 （コマ数）	30 (15)	単位数	1
担当教員 （資格等）	野田　光晴			時間割	水曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	就活を中心にした授業内容でポートフォリオや作品集、ブランド企画などをテーマに指導。						
学習到達 目標	自己アピールと作品のプレゼン内容を明確に表現できる。						
担当教員の 授業に関わる実務経験	□ 有 ☑ 無	【実務経験内容】					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1～2	ポートフォリオ	ポートフォリオとは
3～4	〃	ポートフォリオの作成
5～6	〃	ポートフォリオの作成
7～8	〃	ポートフォリオの作成
9～10	商品企画	テーマからデザインを考えマップを制作
11～12	〃	テーマからデザインを考えマップを制作
13～14	〃	テーマからデザインを考えマップを制作
15	修了テスト	修了テスト

使用テキスト 教材・教具	プリント配布		
参考図書 参考文献			
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。		
履修上の 留意点		検定試験の 概要	
備考			

授業科目	クリエイションデザインⅡ			時間数（コマ数）	60（30）	単位数	2
担当教員（資格等）	大木　美代子			時間割	金曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科　2年		
授業科目のテーマと目的	決められたテーマから着想して、多様なデザイン展開と表現方法を学ぶ。						
学習到達目標	テーマを的確にとらえて、オリジナリティのあるデザイン表現が出来るようになる。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	ファッションイラストのふり返り	設定したテーマで描く
2～29	実践する	コンテスト作品の作成　着想→デザイン→発表（6～7テーマ）
30	デザイン画のまとめ	半年の自身の作品を振り返り、今後の目標を確認する

使用テキスト教材・教具	コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、絵具、ドローイング帳		
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	デザイン力40%、発想力40%、提出物20%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考			

授業科目	服飾造形Ⅳ			時間数 （コマ数）	180 (90)	単位数	6
担当教員 （資格等）	大野　幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年 パタンナーコース　2年		
授業科目のテーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地の扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達目標	トータルコーディネート制作。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1～10	パンフレット作品（40コマ）	パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け
11～38		裁断・縫製
39～40		スタイリング、撮影
41～50	オートクチュール作品（40コマ）	パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け
51～78		裁断・縫製
79～80		スタイリング、撮影
81～84	自由制作（10コマ）	パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け
85～89		裁断・縫製
90		スタイリング、撮影

使用テキスト教材・教具	布、副資材他		
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	提出作品のデザイン性30%、縫製技術20%、完成度30%、スピード20%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。		

授業科目	パターンメーキングⅡ-B			時間数（コマ数）	60（30）	単位数	4
担当教員（資格等）	野口　陽子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科2年		
授業科目のテーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、デザイン表現技術の修得を目指す。						
学習到達目標	基本型からの応用ができ、パターンからトワルを組み、立体の確認をする事ができる。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと型紙の制作方法を指導する。					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1～2	Tシャツ製図	サンプルを採寸しパターン制作
3～4	実寸組立て	カットソー裁断、ミシン縫製
5～7	スカートのバリエーション	マーメードスカート、プリーツスカート、ヨークドスカート、エンパイアスカート
8～9	トワールによる実寸組立て	トワル裁断、ピンワーク（スカートバリエーションから1点選ぶ）
10	検討会	スカートバリエーションの立体を確認
11～12	身頃続きの袖	三角マチ、ひし形マチ、5角マチ（縮尺製図）
13～14	トワールによる組立て	トワル裁断、ミシン縫製（1型選ぶ）
15～16	メンズシャツ製図	台襟付きシャツカラー、シャツスリーブ
17～18	メンズシャツ製図	パーツパターン抜き出し
19～20	メンズシャツ製図	工業用パターン、仕様書作成
21～22	トワールによる実寸組立て	トワル裁断、ピンワーク
23～24	ファッション3Dモデリング導入	ファッション3Dモデリングの基本操作説明
25～28	ファッション3Dモデリング基礎	3D画面で立体でパターンを作成
29～30	テスト	修了テスト

使用テキスト教材・教具	配布プリント、パターンメーキングⅠ　他2冊、ドレメオリジナル原型 1/5　他　約11点		
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考			

授業科目	舞台衣装Ⅱ			時間数（コマ数）	30（15）	単位数	1
担当教員（資格等）	川上　須賀代			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース2年		
授業科目のテーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。						
学習到達目標	自ら課題を発見し、解決に導く力、想像力、発想力、表現力を習得する。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエーターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1～2	衣装パターン①	使用素材の確認・修正パターン作成
3～4	トワルチェック	最終トワルチェック
5～6	パターン修正	修正パターン作成
7～8	裁断	使用生地の裁断、芯貼り
9～13	制作	衣装制作
14	最終フィッティング	衣装フィッティング
15	最終確認	修正、納品に向けて仕上げ

使用テキスト教材・教具			
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	課題80%（縫製、完成度）、プレゼンテーション20%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考			

授業科目	色彩学Ⅳ			時間数 （コマ数）	30 （15）	単位数	2
担当教員 （資格等）	青田　梨沙			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科　2年 ファッションビジネス学科　2年		
授業科目のテーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通にいたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達目標	ファッション色彩能力検定2級合格。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☐ 有 ☑ 無	【実務経験内容】					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	ファッション産業における色彩計画	ファッション 業界において色彩を取り扱う姿勢
2	〃	情報としての色彩
3～4	〃	商品企画における色彩計画
5	〃	生産段階における色彩
6	〃	販売における色彩計画
7	〃	パーソナルコーディネーションと色彩
8～14	検定対策	過去問題集から模擬テスト、解答
15	テスト	修了テスト

使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集 ：日本ファッション教育振興協会		
参考図書 参考文献			
成績評価の方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日（土）
備考			

授業科目	デジタル演習Ⅳ			時間数（コマ数）	30（15）	単位数	1
担当教員（資格等）	大木　美代子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科　2年 ファッションビジネス学科　2年		
授業科目のテーマと目的	基本操作の応用、オリジナルのコラージュ作成で多様な世界観の表現ができる。						
学習到達目標	テーマにマッチしたコラージュの作成ができる様になる。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	ポートフォリオとは	ポートフォリオとは、つくる目的
2～4	練習課題	テーマに合わせて作成する　基本的な構成を学ぶ
5～7	テーマ①	オリジナルのテーマ設定
8	テーマ①	発表
9～11	テーマ②	オリジナルのテーマ設定
12	テーマ②	発表
13～14	テーマ③	オリジナルのテーマ設定
15	テーマ③	発表

使用テキスト教材・教具			
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	作品70%、プレゼンテーション力30%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考			

授業科目	ブランド企画Ⅰ			時間数（コマ数）	30（15）	単位数	2
担当教員（資格等）	大木　美代子			時間割	金曜4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年		
授業科目のテーマと目的	実売を視野に入れて、リアリティとオリジナリティの共存したブランディングを行う。						
学習到達目標	販売までを視野に入れて、トータルでの見せ方を考慮したデザイン企画を実践する。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	ファッションブランドとは	デザインの視点と、バイイングの視点から考える
2～3	オリジナルブランド立ち上げ	マーケティング、ペルソナ設定を行う
4～7	オリジナルブランド立ち上げ	イメージコラージュ作成、アイテムコラージュ作成
8	オリジナルブランド立ち上げ	素材、色、テーマシート作成
9	オリジナルブランド立ち上げ	店舗リサーチ
10～13	オリジナルブランド立ち上げ	トレンド分析、商品企画、デザイン画作成、ハンガーイラスト 作成
14	ネーム企画	オリジナルのネームデザイン、発注
15	プレゼンテーション	作成した資料で各自発表

使用テキスト教材・教具	ブランドネーム		
参考図書参考文献			
成績評価の方法・基準	作品25%、オリジナリティ50%、プレゼンテーション力25%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考			

授業科目	クリエイションデザインⅢ			時間数（コマ数）	60（30）	単位数	2
担当教員（資格等）	大木　美代子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年		
授業科目のテーマと目的	商業デザインの構造を考えた、商品企画を自身の視点で表現する。						
学習到達目標	機能性や生産性も含めた、リアリティのあるデザインができるようになる。						
担当教員の授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					

コマ割		
1	商品企画とは	アパレル業界の構造を知る　企業リサーチの仕方
2～7	商品企画実践①	ターゲットブランドの選定　リサーチシート作成　イメージコラージュ
	商品企画実践①	デザインと商品展開　マテリアル選定　発表
8～14	商品企画実践②	ターゲットブランドの選定　リサーチシート作成　イメージコラージュ
	商品企画実践②	デザインと商品展開　マテリアル選定　発表
15～21	商品企画実践③	ターゲットブランドの選定　リサーチシート作成　イメージコラージュ
	商品企画実践③	デザインと商品展開　マテリアル選定　発表
22～27	商品企画実践④	ターゲットブランドの選定　リサーチシート作成　イメージコラージュ
	商品企画実践④	デザインと商品展開　マテリアル選定　発表
28～30	総合デザイン	BOOKのまとめ

使用テキスト教材・教具	PC、コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、クリアファイル		
参考図書参考文献	生地の辞典：株式会社みずしま加工、テキスタイル用語辞典		
成績評価の方法・基準	発想力30%、企画力40%、デザイン力30%で評価する。		
履修上の留意点		検定試験の概要	
備考			

授業科目	ブランド企画Ⅱ			時間数 （コマ数）	60 （30）	単位数	2
担当教員 （資格等）	大木　美代子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年		
授業科目の テーマと目的	自身のオリジナルブランドを作成して販売。						
学習到達 目標	作品制作。						
担当教員の 授業に関わる実務経験	☑ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	デザイン決め	Iで作成したデザインから製作する商品を決定
2	管理表作成	品番台帳、企画表作成
3～29	造形	パターンメイキング、縫製（2～3着）
30	プレゼンテーション、撮影	各自で発表、ポートフォリオ作成

使用テキスト 教材・教具			
参考図書 参考文献			
成績評価の 方法・基準	作品60%、管理進行20%、プレゼンテーション力20%で評価する。		
履修上の 留意点		検定試験の 概要	
備考			

授業科目	パターンメーキング 3級実技検定対策Ⅰ			時間数 （コマ数）	30 （15）	単位数	1
担当教員 （資格等）	大野　幸美			時間割	夏季休暇 集中開講	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年		
授業科目の テーマと目的	デザインブラウスのパターンメーキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。						
学習到達 目標	パターンメーキング技術検定試験3級合格を目指す。						
担当教員の 授業に関わる実務経験	☐ 有 ☑ 無	【実務経験内容】					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1～5	パターンの理解	A、Bブラウス2点のパターンを理解、覚える
6～15	実技練習	製図、シーチング組み立て一連の反復練習

使用テキスト 教材・教具	シーチング他、パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック（一般財団法人日本ファッション教育振興協会）		
参考図書 参考文献			
成績評価の 方法・基準	課題作品100%で評価する。		
履修上の 留意点		検定試験の 概要	パターンメーキング技術検定試験3級 2023年12月9日（土）
備考	夏休み中の集中授業。 シーチング他¥5,500、テキスト（パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック）¥3,267、検定料¥12,500は実費。		

授業科目	パターンメーキング 3級筆記検定対策			時間数 （コマ数）	30 （15）	単位数	2
担当教員 （資格等）	大野　幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	講義	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年		
授業科目の テーマと目的	パターンメーキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。						
学習到達 目標	パターンメーキング技術検定試験3級合格を目指す。						
担当教員の 授業に関わる実務経験	☐ 有 ☑ 無	【実務経験内容】					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1	既製服の概念	既製服の基礎知識とパターンメーキング用語について
2	〃	既製服のパターンについて、既製服の寸法
3～4	ファースト パターンメーキング	フラットパターンの基礎知識（身頃、スカート、袖）
5～6	〃	ブラウスのパターンメーキング（縮尺）
7	〃	ドレーピングの基礎知識（模擬テスト）
8	工業用パターンメーキング	工業用パターンとは　工業用パターンの記号
9	〃	工業用パターンの知識
10～11	〃	工業用パターンメーキング（模擬テスト）
12～13	グレーディング	グレーディングとは　（模擬テスト）
14	素材	素材の知識とパターンメーキング
15	テスト	修了テスト

使用テキスト 教材・教具	パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック（一般財団法人日本ファッション教育振興協会）		
参考図書 参考文献			
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%　修了テスト70%で評価する。		
履修上の 留意点	パターンメーキング3級実技検定対策Ⅰを受講した者に限る	検定試験の 概要	パターンメーキング技術検定試験3級 2023年12月9日（土）
備考			

授業科目	パターンメーキング 3級実技検定対策Ⅱ			時間数 （コマ数）	30 （15）	単位数	1
担当教員 （資格等）	大野　幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 （学科・コース・学年）	ファッションデザイナーコース　2年		
授業科目の テーマと目的	デザインブラウスのパターンメーキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。						
学習到達 目標	パターンメーキング技術検定試験3級合格。						
担当教員の 授業に関わる実務経験	☐ 有 ☑ 無	【実務経験内容】					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1～7	実技練習A	時間を計り（3時間半）、反復練習
8～15	実技練習B	時間を計り（3時間半）、反復練習

使用テキスト 教材・教具	シーチング他、パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック（一般財団法人日本ファッション教育振興協会）		
参考図書 参考文献			
成績評価の 方法・基準	課題・作品60%、検定40%で評価する。		
履修上の 留意点	パターンメーキング3級実技検定対策Ⅰを受講した者に限る	検定試験の 概要	パターンメーキング技術検定試験3級 2023年12月9日（土）
備考			

授業科目	研修			時間数（コマ数）	30（15）	単位数	1
担当教員（資格等）	大野　幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者（学科・コース・学年）	ファッションクリエイター学科　2年		
授業科目のテーマと目的	トレンド発信の早い韓国で、韓国ファッションの勉強と制作する生地や副資材の購入を行い、オリジナルブランド展開に使用する。						
学習到達目標	イメージを具体化する、かつ数値の予定と併せた仕入れ業務を行う						
担当教員の授業に関わる実務経験	□ 有 ☑ 無	【実務経験内容】					

コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度	
1～2	事前準備	韓国トレンド、市場について
3～14	研修	韓国資材購入
15	研修まとめ	レポート

使用テキスト教材・教具	
参考図書参考文献	
成績評価の方法・基準	レポート100%で評価する。
履修上の留意点	
検定試験の概要	
備考	